

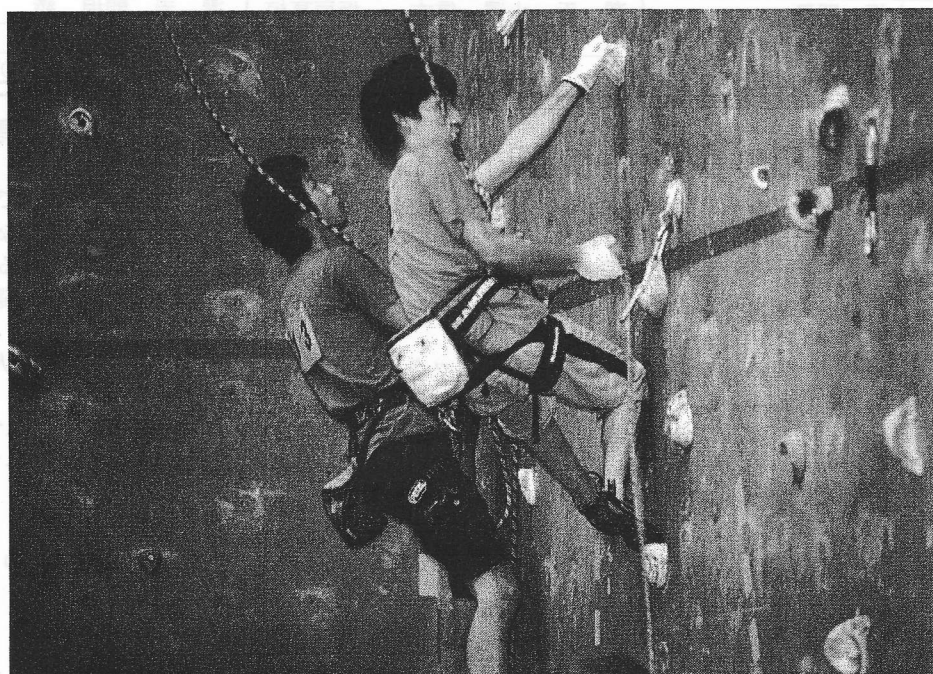
埼玉岳連

埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第14号

発行所 埼玉県山岳連盟
上尾市上1481-5
電話048-775-1723

発行者 田中 文男
編集人 広報 岩井田 正昭
発行部数 1500部

《2002年国際山岳年記念事業を成功させよう!》



(左側 島村選手・右側 小澤選手 5:11dを完登)

少年男子1位・関東突破

《高知国体出場決定!》

第57回国民体育大会 関東ブロック大会が千葉県習志野市東部体育館、君津市清和県民の森で行われた。

第57回国民体育大会関東ブロック大会山岳競技会で、少年男子が見事総合1位で関東突破を果たした。

24日にクライミングでは、先に行われたジュニアオリンピック覇者の小澤・島村ペアが共に完登。

翌日の縦走でも、若月5位、小澤9位に入り総合で群馬と1位を分けた。少年男子の関東突破は久しぶりで、59国体に向けてのステップが始まった。

参考成績

(第57回ジュニアオリンピックカップ)

男子A(18~19) 決勝5・13a

2位 田村 鷹志(県立吉見高校)

男子B(16~17) 決勝5・12c

1位 小澤 信太(県立坂戸高校)

2位 島村 太郎(県立草加西高校)

男子C(15) 決勝5・12b

2位 坂田 憲 (越谷市立大相模中学校)

女子C(15) 決勝5・11b

2位 門間 希美(加須市立東中学校)

第57回国民体育大会 関東ブロック 山岳競技会 成績

期 日：平成14年8月24・25日

会 場：クライミング 習志野市東部体育館
：縦 走 君津市清和県民の森

都県名	成年女子			少年男子			少年女子		
	総合	団体 クライミング	団体 縦走	総合	団体 クライミング	団体 縦走	総合	団体 クライミング	団体 縦走
茨城県	8位	8位	8位	6位	4位	6位	4位	3位	6位
栃木県	7位	5位	7位	5位	5位	3位	1位	2位	1位
群馬県	6位	7位	4位	1位	3位	2位	3位	4位	3位
埼玉県	4位	3位	6位	1位	1位	4位	7位	6位	7位
千葉県	3位	1位	5位	3位	1位	5位	1位	1位	2位
東京都	1位	2位	2位	7位	8位	7位	6位	7位	4位
神奈川県	2位	4位	1位	4位	6位	1位	—	—	—
山梨県	4位	6位	3位	7位	7位	8位	5位	5位	5位
監 督 吉沢 英一				監 督 重本 文孝			監 督 小暮 岳実		
選 手 丸橋 朋子				選 手 小澤 信太 坂戸高校			選 手 関根 綾 狭山経済高校		
細田 雅子				島村 太郎 草加西高校			内間 愛 鴻巣高校		
安藤 由香里				若月 寛俊 越生高校			山本 はるか 熊谷女子高校		

第57回関東ブロック大会クライミング競技レポート 埼玉県山岳連盟 村岡正巳



左のルート「太郎」、右のルート「信太」が、流れるようなムーブで登ってゆく。そして、完登。登り終わって競技エリアからでてきた彼らは、息の乱れもなく、なにごとにもなかったような表情。それよりは、《ファイナルがやりたい》と言っている彼らにとっては物足りないといった方があたっていただろう！

発表5.11d (選手評価5.11b)

先に行われたジュニアオリンピックで1、2位(カテゴリーB)となった2人にとっては、登れてあたりまえのルートであったようだ。

今回、他の県を合わせると完登が6人。一部クライミングへの対応が遅れている県も見受けられるが、ジュニアクラスでのクライミング技術は相当に高くなってきている。主催者側のルートセットもその旨を十分考慮して行う必要を感じた。



少年男子

翌日の縦走では、「若月」「信太」がエントリー「若月」は前日のクライミングの成績を活かす走りで5位。

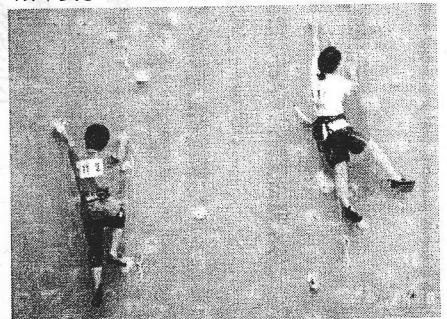
そして「信太」は9位と大健闘。走れるクライマーの誕生だ!! 今後が非常に楽しみな埼玉少年男子チームである。



一方、成年女子はクライミングで3位に付けながらも惜しくも総合4位。少年女子は、健闘虚しく7位。



成年女子



「クライミングジムご案内」 No.1

今号より埼玉県内のクライミングジムを順次紹介していきます。(順不動)
埼玉県体開催を前にクライミングの楽しさ、面白さをみなおしてみませんか。
是非お近くのジムにお出かけ下さい。イレブンも夢ではありません。

《ミストラル クライミングジム》

場所 〒343-0804

越谷市南荻島2696

TEL048-970-6334

東武伊勢崎線越谷駅東口より

バス「野中」下車徒歩1分

月曜日定休・平日13:00~22:30

土曜・日曜・祝日10:00~20:00

スタッフ 柴田 朋広 風美枝

多彩な傾斜と形状のボルダーやルート壁、シヨップ有り、レストルーム完備

詳細は直接TELまたは
HP <http://www.gym-mistral.com/>で案内あり

平成14年度

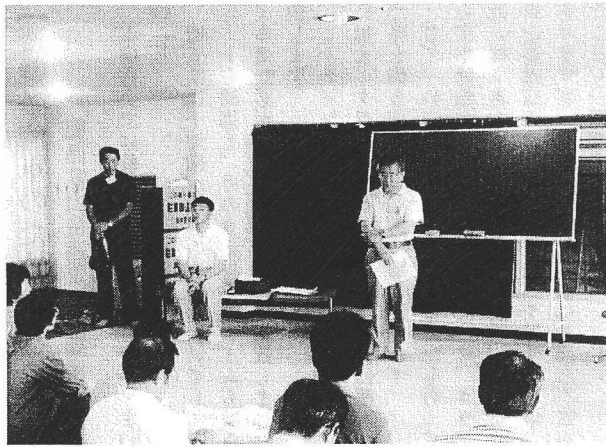
【山岳レスキュー講習会開催】

主催 日本山岳協会
 主管 埼玉県山岳連盟
 平成14年8月31日～9月1日

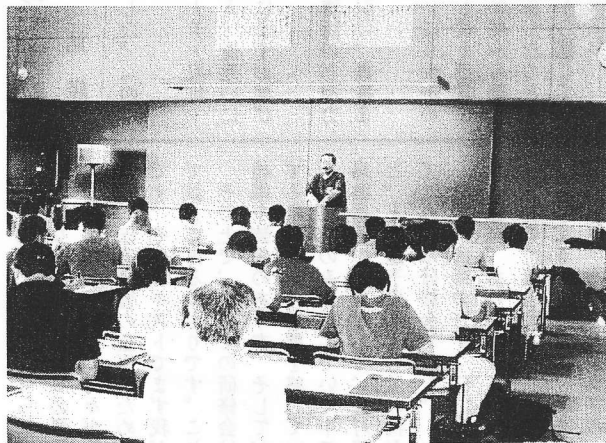
山岳遭難事故現場で必要な登山者の救助技術の習得・研鑽を目的に、埼玉県加須市の市民体育館にて開催。

ハイキング・一般登山クラス、クライミングクラスにわけて、実技・机上講習を主体にレスキュー講習を行った。

参加者数約60名(日山協・県岳連関係者は田中会長他、20名を数え、岩手・秋田・栃木・東京・神奈川・群馬・静岡・山梨・京都・愛知・徳島・埼玉と各地から多数の受講者が参加し、熱心に各講師の指導を請けた。午後より加須青年の家に移動し、埼玉県警山岳救助隊・南雲隊長の講演を聴講後、終了した。



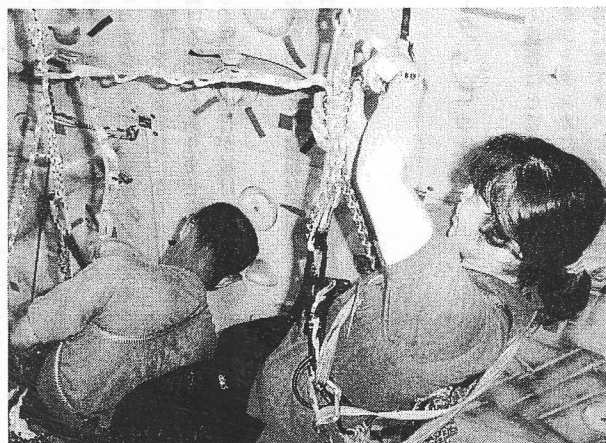
開会式挨拶 日山協 田中会長



恵講師による救急法 講話



クライミングレスキューを指導する町田講師



女性会員による岩場救助訓練

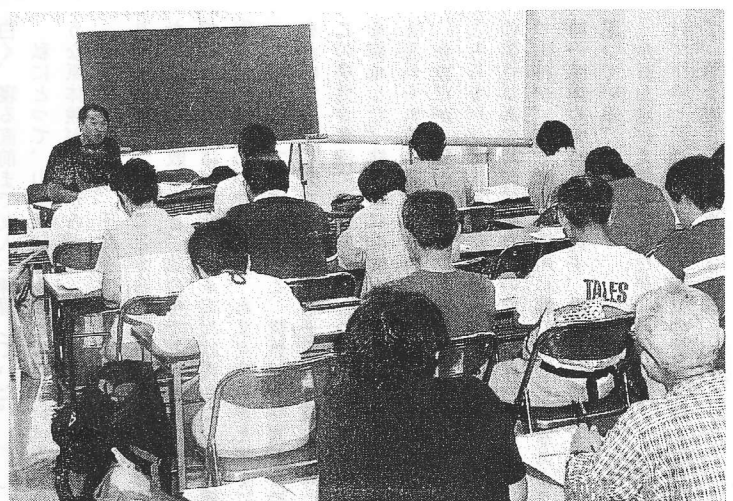
食事後、別会場にて懇親会を開催し、各県の参加者と意見交換を行った。

二日目、午前中の机上講習後、加須体育館に集合し、恵講師の指導により、搬送シミュレーションを行った。擬似負傷者を実際に近い状況(かなり凄惨なメーキャップ)の中、応急対処の方法、搬送の方法を3パーティに分かれて実践した。

各講習を終了後、体育館にて日山協・田中会長、西内遭難対策委員長、県岳連・福田理事長の閉会挨拶があり、後に受講終了証が、全員に、手渡され二日間の講習を無事終了した。

なお参加者の中から(徳島県・二見、群馬県・土橋、秋田県・酒田)氏の別紙の感想文を頂きました。

文責 岩井田



渡辺講師による講習会

【遭難予備軍のためのレスキューのすすめ】

徳島県山岳連盟 徳島岳人倶楽部 二見 隆久

本研修会では最遠の地、徳島からやってまいりました。(このこと。)

埼玉県に土地勘がないのを割り引いても、アプローチ・取付・ルートの間違え、そのうえコースタイムも読み間違え、道迷いによる遭難必至の行動を重ね初日遅刻致しましたことにまずお詫び致します。

ミーティングに途中入場したばつの悪さと、町田講師のど迫力に加え、クライミングボードの圧迫感に思わず腰が引け、最後まで尾を引きました(お酒の場を除きます)。

さて、いい加減な年齢でたいした山も行っていないにもかかわらず本研修会にやって参りましたのは、クラブ内でも最も遭難に近い奴(あわてんぼ)と言われ続け、そのため今年度から徳島県山岳連盟の遭難対策委員長(やり手がない)を受命したこともあります。徳島県の救急体制に不満と不安を日頃から感じていたことも一因です。

徳島県には6の常備消防未整備町村があります。過疎の山間の町村であり私達の年間を通してのホームゲレンデとなっている場所でもあります。現在県の保健所に勤務し総務担当ではありませんが、医療機関・消防機関を交えてのプレホスピタルケア・メディカルコントロール等々から、人の命に対するそれぞれの役割を思いますと、その中で自己責任について考えさせられていたのです。前置きはかりになりそうなので、研修の私なりの感想を述べさせていただきます。時間は足りませんと云うべきでしょうか。その貴重な時間も、加齢に伴う頭の回転の低下のせいでもあります。が、町田講師の極めて熱心な実技に見られ、名だたる講師陣の献身的な模範演技にあんな動きはなかなかでせんわな、と納得してしまつてボーっと見ていることが殆どになってしまったことを反省しております。

当クラブは夏場は沢登りに明け暮れ、岳連の中で講習会も実施しています。インシデントは結構ありその対応には一定の成果はあげてはいますが、大きな事故への体制は出来ていません。沢での救助に斜張システムもまたご教授いただけたらと思いますし、埼玉県警山岳救助隊の結構泥臭い(失礼)救助方法は大変参考になりました。

応急処置についても、過去に訓練を受けた水難事故の心肺蘇生法は、頸椎損傷等の可能性が高い山岳事故ではそのまま応用できないこと、いざという時はなかなかの確な実施は難しいことを、

モデル訓練でも痛感させられ、現場における第一次救命処置の重要性となお訓練を重ねる必要性を感じました。

今、研修会で講師の方々が教授されたかったことを改めて思い返し、伝達講習の企画のため私なりのたたき台テキストを作成中です。そのテキストでまず我がクラブの人間をモルモットに実技で試してみるつもりです。これが一番危険なような気がしますが、その上で、岳連での研修会はずいぶん実施したいと考えています。組織や装備のあり方、そしてどう動くべきなのか、きちんと検証する場の設定の必要を感じています。

高齢化のみが進んでいく中で、危機管理が十分とは見えない徳島県岳連の一人として、遭対部門だけでももう少し何とかしないと、と遭難予備軍としての我が身を振り返つても切実に感じさせてくれた本研修会でした。

最後に講師の方々、日山協の皆様、お世話いただいた埼玉県岳連の皆様、ありがとうございました。研修会のお仲間の方々、お世話になりました。

身の丈5尺3寸9分、重さ16貫200匁、10文2分のみぬけの小足。徳島岳人クラブの「ふたみ」と申します。どこかで倒れていたら救助をお願いします。

徳島県山岳連盟(新米) 遭難対策委員長

【レスキュー講習会を受講して】

前橋山岳会 土橋 益美

私が現在の山岳会に入会を認められてから、早いもので1年半が経過しました。過去に仕事で団体を連れて山歩きをすることも多少ありましたが、岩登りの「い」の字も知らなかった自分にとって、色々な道具を使って一般道以外のルートを登ることはとても新鮮であり、先輩達に叱咤激励されながら楽しい時間を過ごすことができました。

少々の知恵が付いた今、これまでの山行や活動を省みると、我が会で毎週行われている例会や個人山行では、具体的に緊急事態を想定した話合いや訓練を行ったことがほとんど無いことに気が付きました。そして、万が一、不幸にも自分やパートナーが事故に遭遇した時に恐らく何も出来ないであろう自分に愕然としました。本来、事故対応の知識や技術は、その人の経験・レベルに拘わらず誰もが備えるべき必須アイテムです。それを考えると、自分はかなり著った行動をしていたと思いました。

今回初めて参加した講習会ですが、講師の方の説明と実技のシミュレーションは、長年の実践経験と研究を重ねてこられた賜物

らしく、とても分かりや易く理解できました。大変そうに見えた事が、コツを掴むと案に出来たり、道具を使うことによって僅かな力が何倍もの働きをすることも分かりました。とは言え頭と行動は別物で、分かったつもりが、実際に自分でやってみるとろ覚えで何度もやり直しをする羽目になりました。一度受講しただけでは実践で即動けるはずありませんが、今後また、会で反復練習して、楽しく快適な山行が続けられるよう頑張りたいと思います。

また、他県の山岳会の方とも情報交換できとても楽しかったです。主催者・役員の皆様には、色々とお世話になりました。ありがとうございました。

【感動のガータ・ヒッチ】

酒井 佳子

今回のレスキュー講習はとても興味深かった。怪我の応急処置、ちよつとした物をテントタンカにする工夫、摩擦を利用したようなロープワーク。特にガータ・ヒッチは魔法を見ているように面白く、寝る直前まで友人と練習していた。

私にとって、山岳遭難は人ごとではない。というのも、次のような原体験があるからだ。

小学校5年の秋、子供会で札幌市近くの山にかけた。予想より早く山頂についたことから、計画とは違う道を下りることになった、これが失敗のもと。山の中で日が暮れてしまい、舗装道路まで出られたのは、私を含め4人だけだった。舗装道路といつても街灯一つ無い山の中である。あまりの寒さと暗さに、身を寄せ合つて座り込んでしまった。と、突然、懐中電灯を持った男性が声をかけてきた。何でも、彼の息子を山に探しに来たのだと言う。この男性が私達の家に連絡をとってくれ、親たちはすぐに救助隊を編成した。結果的に全員が深夜までに帰宅できたのだが、今でも忘れられない思い出である。

余談だが、私達を救助した男性の息子は実は家にいたそう。で、こちららハッピーエンドに終わった。でも、そうすると、なぜあの男性はあの時間に私たちの前に現れたのだろう。本当に不思議で山神が、彼を私たちの所に導いたとしか考えようがない。この時の感謝の気持ちを忘れず、謙虚な気持ちで山を歩き続けたいと思っている。

余計な話が大部分でしたが、最後のこのような興味深い講習を授けて下さった講師の方々、運営の皆様、参加者仲間に感謝を込めて、筆を置きたいと思います。



(山頂にて記念写真)



(雲取山荘にて)

【国際山岳記念 奥秩父環境登山大会】

盛大に開催される 参加者84名

去る9月16日～17日に実施された、奥秩父登山大会には、総勢84名の参加者を迎え、盛大に開催されました。田中会長の挨拶に始まった三峰神社コースは、8時にスタートし、霧の霧凇ヶ峰、白岩山を通過し、午後1時頃からゴールの雲取山荘に続々と到着しました。

天候は霧から雨と生憎の天気でしたが、埼玉県山岳連盟加盟団体以外にも、県警山岳救助隊7名や千葉岳連の4名、少年2名、一般参加者5名等、たくさん参加者に花を添えていただきました。

山荘大広間での開会式の後、日山協自然保護委員長佐久間氏の自然保護の話、県警山岳救助隊の南雲隊長の講話、副隊長のヘリコプターでの救助の話等、楽しい話を聞かせていただきました。

その後山荘庭にて焼肉とおでんを囲んで懇親会で盛りあげられました。翌日は、山頂にて浅見名誉会長の講話のあと、全員で記念写真をして解散となりました。

生憎の天候で県警山岳救助隊のヘリコプターによる救助の実演が出来なかったことは、残念でしたが、たくさん参加者を迎え、山を仲立ちとして交流が出来たことは、大きな成果でした。山小屋を使つての交流は大人数では難しいことですが、このような機会が又もたら幸と、感じました。

主管の自然保護委員会を始め、関係者の皆さん、苦勞様でした。

埼玉県山岳連盟 加藤富之 記

国際山岳年記念行事

【奥秩父環境登山大会 報告書】

平成14年9月17日

自然保護部部长 山口

1、期日 平成14年9月15日(日)～16日(月)

2、場所 奥秩父「雲取山荘」及び「雲取山」

3、主催 埼玉県山岳連盟「主管：埼玉県山岳連盟自然保護部」

4、参加者 84名(宿泊者112名、研修会後帰宅12名)

★日本山岳協会：佐久間自然保護委員長、青木敏雄氏、千葉岳連2名

★埼玉県内山岳団体：田中文男会長、福田靖理事長他26団体74名

5、日程

★9月15日(天気：曇りのち雨)

1) 受付：14時00分～15時30分 雲取山荘内食堂にて

2) 開会式：15時40分～15時50分 雲取山荘内食堂にて

(司会：山口実行委員長)

・開会宣言：山口実行委員長

・挨拶：田中文男 大会会長

・来賓挨拶：佐久間勉 日山協自然保護委員長

・来賓紹介：加藤富之 大会副委員長

(青木氏、浅見氏、南雲氏、他)

3) 研修会：15時50分～17時00分 雲取山荘内食堂にて

(司会：三ツ木副実行委員長)

イ) 日本山岳協会、自然保護委員会の取り組みについて、

……佐久間勉日山自然保護委員長
各地の山小屋におけるゴミ処理方法の問題・尾瀬(長蔵小屋の建築廃材や空き缶の件)。

山のトイレ問題や野生動物の害について。

これらの問題で埼玉県はどの地域にも負けないものをつくってほしいと強調されました。

ロ) 埼玉県内山岳遭難の現状について

……南雲芳夫県警山岳救助隊長

単独登山者の遭難事故が多いことや登山計画(届け)と違うルートを通った事により発見が遅れた事、携帯電話があれば助かったと思われる事故のことがや安易に助けを求める件。

ハ) ヘリコプターによる遭難者捜索と救出時の注意事項

……飯田雅彦県警山岳救助隊副隊長

ヘリコプターでの救助時、救助される側としては右腕を上下に振ることや黄色・赤色やオレンジ色が目立ち、動くほうがヘリコプターからは発見し易いとの事、他諸注意事項。

4) 懇親会：18時40分～20時 雲取山荘前広場にて

(担当：岩崎副実行委員長)

・雨空の中参加者全員それぞれの思い出のひとときを楽しく過ごしておりました。

★9月16日(天気：雨、風強し)

イ) 山頂セレモニ開催、7時40分 (司会：山口実行委員長)

・セレモニ開催の挨拶

・田中文男 大会会長・福田靖 大会委員長

・「雲取山について」の講演会……

・浅見豊 県岳連名誉会長、7時50分～8時10分

ロ) 閉会式、8時10分～8時20分 (司会：山口実行委員長)

・挨拶：田中文男 大会会長 福田靖 大会委員長

・閉会式：鳥居巳 大会副委員長

・その他、記念写真撮影後解散

◆雨天の為に当初の計画を大幅に変更せざるを得なかったのは担当者として非常に残念でした。

なお参加いただいた団体は左記の通りです。

川口市山岳連盟・藤ハイキングクラブ

浦和市役所OB会・あゆみ山の会

大宮山岳会・桶川山の会

深谷山岳会・熊谷山岳会

恵流峰会・熊谷アルムHC

吉田山岳会・小笠野山岳会

奥武蔵WV・春日部市山岳連盟

山岳同人山歩・戸田山の会

蓮田山の会・石ころの会

埼玉県警山岳救助隊・一般参加者

平成14年

【県民体育大会 山岳競技会縦走の部開催のお知らせ】

すでに御案内の通り左記要項にて縦走競技（小鹿野・観音山）が行われます。県岳連加盟団体委員の奮っての参加をお願いします。

期日 平成14年11月17日（日） 小雨決行
会場 小鹿野町観音山周辺
日程 11月17日（日）

受付会場 AM8 小鹿野町日尾運動場
開会式 AM9:10 同所にて
競技開始 AM9:30

閉会式 PM1 小鹿野町日尾運動場
参加資格 埼玉県山岳連盟所属会員および県内在住者

種別 少年男女（高校生以下）・成年男子
種別 (1) 競技の部・縦走競技（個人）
(2) 一般の部・一般参加者（競技対象としない）

受付締切 11月8日（金）
参加費 1000円（当日受付）
その他 参加申込み・詳細等は所属山岳連盟又は、左記担当に
お問い合わせ下さい。

熊谷市石原21015
埼玉県山岳連盟 国体委員 長谷川 茂
TEL 048-523-1223
携帯 090-3146-4651

【C級スポーツ指導員養成講習会】開催のお知らせ

今年度11月より左記の通り指導員養成講習会が開催されます。受講・受験にあたり一定の資格を有するものに限定されています。詳しくは「準指導員養成講習会開催要領」をお読みください。なお、この講習会は指導員を養成することが目的であり、全員合格させるのが目標です。したがって、初心者・初級対象の講習会ではありません。

講習会（予定）プログラム

- 第1回集中講習・基礎理論 ※登山の基本・登山と自然・確保理論
平成14年11月17日（日） 北本中央公民館研修室
- 第2回集中講習・基礎理論 ※遭難対策とセルフレスキュー
平成14年12月7日（土） 8日（日） 北本文化センター
- 第3回集中講習・実技・検定 ※氷雪技術
平成15年2月1日（土） 2月2日（日） 那須岳周辺
- 第4回集中講習・実技・検定 ※わかん技術・雪洞技術
平成15年3月1日（土） 2日（日） 上越（場所未定）
- 第5回集中講習・実技・検定 ※岩登り技術
平成15年3月15日（土） 16日（日） 飯能 天覧山

※申込み時に（申込書・推薦状・山歴書）が必要で
募集人員 20名（募集人員に達しない場合は中止）
募集締切 平成14年11月6日

申込み先 埼玉県山岳連 指導部 中山 法行
〒350-0811 川越市小堤61264
TEL・FAX 049-2133-8645

【理事会 報告】 9月10日

午後7時30分 北本市文化センター

1. 国際山岳年記念 奥秩父登山大会について

詳細な計画が提案され可決・運営されました。

(別紙報告書)

2. 県民体育大会・縦走競技（小鹿野・観音山）

別紙 実施計画書の通り可決されました。今年度はスタート、ゴールが倉尾小学校校庭から日尾運動場に変更されます。
受付締切 11月8日（金）・参加費1000円

3. C級スポーツ指導員養成講習会の開催について

別掲の通り今年度11月より開催することに決定しました。
久しぶりの開催ですが、埼玉国体前の最後の養成講習会となります。内容はやや大変ですが、指導者に成りたい人、どしどし応募ください。

申込締切 10月20日（金）
(まずは意思表示をお願いします)

4. 59国体 役員養成事業について

今後の行事予定の通りに役員養成を行います。
この事業には、国体の縦走・クライミング等でお世になる役員・補助員の皆様に御参加いただきます。

5. 59国体実行委員会について

9月25日（水）加須市

6. 海外委員会より

今年レーニン峰に1名遠征した。
海外登山を実施した人・会、は是非情報を提供してほしい。

7. 事務局より

会員証の追加発注をしました。もうしばらくお待ちください。会員証の代金未納入の会、14年度負担金納入の会は早急に処理をお願いします。

【さがしもの】

去る8月31日から9月1日にかけて行われたレスキュー講習会会場に紛失した、個人所有のポシェット（日赤・北海道支社？）と記入されています。2日目の加須体育館にて行われた負傷者救助講習会会場と思われる。まちがえてお持ち帰られた方はお手数ですが至急埼玉事務局へ返却ください。

〒370-0421 群馬県新田郡尾島町柏川甲522

埼玉県山岳連盟事務局 加藤 富之

TEL・FAX 0276-5211276

【寄贈図書・新聞】到着順

日本山岳協会 第400号・第401号

埼玉県体育協会 スポーツ埼玉 241号

東京都山岳連盟 都岳連通信

エコー山の会

浦和浪漫山岳会 Rohman

歩む山の会 活火山

埼玉県警山岳救助隊 10周年記念文集

【事務局連絡】

理事会・常任理事会の予定は次の通りです。

開催場所はすべて北本文化センター PM7時30分から

10月22日（火） 理事会（12月7・8日冬山リーダー会議、

12月22日 県体クライミング競技会について）

11月19日（火） 常任理事会

12月17日（火） 理事会

59国体・役員養成事業 日程変更のお知らせ

左記の通り期日変更がありますので周知をお願いします。

11月23日・審判員研修会 ↓11月16日（小鹿野文化センター）

11月24日・競技運営実務講習会 ↓11月17日（小鹿野・観音山）

1月25日・審判員研修会 ↓12月21日（加須市民体育館）

12月21日・競技運営実務講習会 ↓12月22日（加須市民体育館）

1月26日・競技運営実務講習会 ↓3月9日（北本文化会館）

3月 日・国体・競技運営役員県内講習会 ↓6月8日 各競技会場

他この事業には国体の縦走・クライミング等でお世話になる役員・補助員の皆様に参加して戴きます。宜しく願います。

編集後記

先月末の加須市で行われたレスキュー講習会時の暑さは半端ではなかったが9月中旬の雨空は肌寒い、これも異常気象か心痛む。暑さ寒さも彼岸まで

連休中の編集作業はちとわずらわしいけど投稿載いた方と思うと感謝一杯。9月末の予定原稿の校正に手間取り10月発行となりました。まもなく10月中旬、あと2ヶ月で今年もせわしく終わらそう。次回の広報は2月発行を目標に原稿集めに奔走する日々が続きます。